

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 静岡県富士市立岩松北小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他（ ）

所在地 〒416-0901
静岡県富士市岩本123-1

E-mail pc-iwamatukita@div.city.fuji.shizuoka.jp

Website _____

児童生徒数 男子 345名 女子 337名 合計 682名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☐ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☒ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☒ そのほか（ 地域理解・キャリア教育 ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

ア 校内での取組について

① 度当初の職員研修

新年度になり、E S Dについての研修を行った。E S Dのねらいやこれまでの実践についての説明、E S D世界大会や多摩第一小学校に参加し得てきた内容についての報告などを行った。新しく赴任した職員にE S Dについての理解を図るとともに今まで本校に勤務していた職員にも改めてE S Dへの取組を意識できた。

② 全校児童への意識付け

校長が年度当初の全校朝礼で、本校が静岡県唯一のユネスコスクールであり、その大切な使命を果たす学校であることを、動物の写真やユネスコのマークなどを見せたり、テーマソングを聴かせたりしながら話をした。【資料1】

② E S Dカレンダーの作成

本校では、総合的な学習の時間や生活科を中心にE S Dに取り組んでいる。学年に大きなテーマはあるものの具体的な内容と構想は各学級で考えていく。そのため、各学級ごとのE S Dカレンダーを6月末を目途に作成する。この作業により、年間の見通しが立ち、他教科との関連も可能な限り考慮できる。

③ 実践

- ・ 1年：身近な自然・身近な地域
- ・ 2年：地域の様子と生活
- ・ 3年：地域の人々の暮らし（自然・食育・伝統文化）
- ・ 4年：自然と環境（環境・自然・地域・文化・安全）
- ・ 5年：さまざまな人との交流（生命・交流・福祉・食育・地域）
- ・ 6年：自己の生き方（キャリア教育・国際理解・伝統文化・地域貢献）
- ・ 特別支援学級：自立と交流（生活・自然・交流・地域）

④ 本年度の各学級の取組紹介

夏休み中に研修の時間を取り、各学級の本年度のE S Dカレンダーと活動の見通しやねらい等について全職員に紹介した。質問や助言等を受け、よりよいものに改善していった。

⑤ E S Dカレンダーの振り返り

各学級のE S Dカレンダーに、変更点や留意点などを書き込み、次年度の資料とするために、冊子として残していく。

⑥ ユネスコスクールだよりの発行

本年度の各学年・学級の取組について保護者や地域に向けて発信した。知ってもらうことが、理解と協力を得ることに繋がると考えている。

イ 外部との連携等について

①ユネスコスクール全国大会への参加

東京で行われたユネスコスクール全国大会へ、校長、主幹教諭、E S D主任の3名が参加した。それぞれの部会で課題をもって話し合いに参加し、有意義な情報を得ることができた。帰校後、全職員に報告をした。

②静岡大学生の卒業論文への協力

ユネスコスクールとE S Dに関する卒業論文を書く学生に、本校の取組概要の説明や授業公開、指導案の提供などの協力を行った。

③静岡大学が主導するコンソーシアム事業への協力

静岡大学が静岡県に築こうと考えているコンソーシアム構想に賛同し、今後ユネスコスクールの交流やE S Dを広める事業に協力していくことを決めた。

④季刊誌『教師の広場』（静岡教育出版社）への投稿

本校のE S Dの取組を「グローバル人材育成」の視点から意味づけ・価値付けをして投稿した。【資料1－1，2】

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☐ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（ ）